

日本遺産の認知度向上

(高 岡 市)

提案・指導教員 富山大学 芸術文化学部 准教授 安嶋 是晴

(参 加 学 生) 中西 由季乃(4年)

1 課題解決策の要約

本事業は、2015（平成 27）年 4 月に高岡市が認定を受けた日本遺産制度の認知度向上に資する事業の試行と企画提案をするものである。高岡市では日本遺産認定以降、マンガや動画による PR、小学生を対象としたスタンプラリーなどを行ってきたが、市民の理解が十分とはいえない状況である。特に若い世代への啓発は急務である。そこで本事業では、大学生に向けた啓発事業を実施するとともに、若年層へ認知度向上に向けた企画づくりを実施した。その結果、学生 58 名から 278 の提案があり、それらを分類整理するとともに分析を行い、課題解決に向けたプロセスの提言をまとめた。

2 調査研究の目的

①若者への日本遺産制度の理解促進、②低予算でできる若者への日本遺産の啓発方法の提案の 2 つを目的として行う。さらに学生が提案する企画の傾向から、どのような事業が若年層への認知度向上に効果的か明らかにしていく。

3 調査研究の内容

①既存資料の情報収集、②日本遺産ポータルサイトから全国の日本遺産認定地で行われている認知度向上の取り組みの調査、③2021 年 6 月 22 日（火）の富山大学芸術文化学部「芸文総合演習 D」の授業で実施した高岡市文化創造課職員による「高岡の日本遺産について」の講義を受けた上で認知度向上に向けた企画案の作成、④2021 年 11 月 13 日（土）、14 日（日）に開催された日本遺産サミット in 小松参加での情報収集の 4 点である。

特に③の企画案づくりでは、富山大学芸術文化学部の学生 58 名が作成した 278 の企画内容を、テキストマイニングによって頻出語句と出現回数を確認し、KJ 法によって企画を分類整理した。また抽出したアイディアの傾向から若者にアプローチしやすい方法の検討も行った。さらに認知度向上にむけた企画実施のプロセスも検討した。

4 調査研究の成果

（1）企画内容の抽出語

③の講義で得られた「認知度向上に向けた企画案」をテキストマイニングによって抽出語出現回数を測定した。上位にきた語句は、「物語」「ストーリー」「文化財」「歴史」など日本遺産の特徴を説明するものであり、その他には「小学生」「学生」「学校」「子供」など教育に関するキーワード、「商品」「景品」「制作」「販

売」など商品販売に関するキーワード、「観光」「ツアー」「体験」「企画」などイベントに関するキーワード、「動画」「SNS」「Youtube」「発信」など情報に関するキーワードが頻出であることが明らかとなった。

表 1 企画案の抽出語出現回数（一部）

抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数
作品	38	実際	22	協力	16	学校	13
ストーリー	34	投稿	22	内容	16	子供	13
物語	34	参加	21	魅力	16	ゲーム	12
文化財	33	PR	20	タグ	15	デザイン	12
歴史	32	小学生	20	関連	15	ポスター	12
対象	29	場所	20	職人	15	作成	12
開催	28	企画	19	多い	15	自分	12
市内	28	体験	19	地域	15	巡る	12
写真	28	地元	19	目	15	伝統	12
動画	28	販売	19	良い	15	年	12
発信	27	優秀	19	Youtube	14	万葉	12
観光	25	イベント	18	イラスト	14	サイト	11
構成	25	景品	18	応募	14	ツアー	11
制作	23	市民	18	絵	14	劇	11
文化	23	学生	17	商品	14	効果	11
募集	23	認知	17	設置	14	使用	11
SNS	22	配布	17	クイズ	13	紹介	11
スタンプ	22	利用	17	スポット	13		

※KH コーダーによるテキストマイニングに基づく

表 1 の結果を踏まえ KJ 法で分類を行い、大項目を 5、中項目を 13、小項目を 70 に細分化し、項目のラベリングを行った（表 2）。

（２）企画案の分類整理

ここでは中項目を中心に説明する。まず学校教育(30)は、小中学校の総合学習や校外学習、自由研究など正規の授業に、日本遺産に関する学びを取り入れるというものである。絵本や紙芝居テキストの制作など、教材作成プロセスも含まれる。

生涯学習(23)は、クイズや検定、ドリル、クロスワード、かるた、すごろくなど楽しみながら学べるツールの開発の提案である。

商品開発(24)は、お土産や食に関する商品開発（メニュー開発）である。お土産は、ガチャガチャ、紙風船、御車山の花笠、パズル、ナノブロックなどが挙げられており、食に関しては弁当、パフェ、学校給食、おせんべいなどの提案があった。

イベント(26)は、集客を目的に実施される企画である。日本遺産に関する販売会、フェス、日本遺産を巡るマラソンや美術館での展示を行うなど、多種多様な提案があった。

コンペ(33)は、日本遺産にちなんだものを募集してコンテストを行うものである。フォト、小説、映像、絵画などが対象として挙げられた。

ツアー(27)は、モデルコースの設置やスタンプラリーである。スタンプラリーは既に実施されているものの、今回はクイズなどを取り入れる提案がなされている。

メディア(32)は、メディア媒体を活用するものである。アニメやマンガを宣伝に取り入れることや、映画やドラマの誘致などが挙げられている。

新技術(48)は、SNS や VR 技術の活用である。Instagram や Youtube などの SNS は若い世代のデジタルネイティブにはリテラシー（読み書き能力）である。提案ではハッシュタグの活用など効果的な活用方法にも触れている。

以上の結果から若者の認知度向上は、教育機関との連携、コンペ開催などで人の巻き込み、魅力的な企画イベント、メディアの有効利用、SNS や VR 技術などの情報技術の活用などが重要であることが明らかとなった。

表 2 企画提案の内容による分類表

大項目	中項目	小項目
ヒト (67)	学校教育 (30)	教材開発・活用 (9) 授業 (8) 行事 (6) 自由研究 (4) 課外活動 (2) ランキング作成 (1)
	生涯学習 (23)	クイズ・検定 (11) 公演企画・実施 (7) 教材開発・活用 (4) 講座 (1)
	人材活用 (14)	PR 人材 (9) ネットワーク (5)
モノ (28)	商品開発 (24)	食 (14) 土産 (10)
	宣伝媒体 (4)	オリジナルソング (2) カレンダー (1) キャラクター (1)
コト (130)	イベント (26)	販売 (3) わらしべ長者 (2) スポーツ (3) フェスティバル (3) ファッションショー (2) 交流会 (1) コラボ企画 (3) アート (3) 思い出 (2) 伝統工芸 (2) 食 (1) イベント再編 (1)
	コンペ (33)	フォト (8) 小説 (6) 映像 (2) 絵画 (2) キャラクター (2) カレンダー (2) 塗り絵 (2) ポスター (2) 理想像 (1) キャッチコピー (1) 作文 (1) 絵本 (1) イラスト (1) 川柳 (1) 似顔絵 (1)
	ツアー (27)	スタンプラリー (12) モデルコース (15)
	体験 (7)	ワークショップ (6) 宿泊 (1)
	メディア (32)	アニメ・マンガ (8) 映画・ドラマ (5) 広告・看板 (5) ポスター (5) パンフレット (3) CM (2) 書籍 (1) アーカイブ (1) はがきで発信 (1) 電子掲示板 (1)
	場づくり (5)	フォトスポット (3) 日本遺産コーナー (2)
ワザ (48)	新技術 (48)	SNS (27) 動画 (8) ゲーム開発 (6) VR (4) プロジェクトマップ (2) アプリ開発 (1)
その他 (5)	行政施策 (5)	統一ユニフォーム (1) 記念日制定 (2) ふるさと納税活用 (1) マンホール活用 (1)

※ () 内の数字は具体的な企画提案数

5 調査研究に基づく提言

(1) 提言の前提

低予算の事業は、少しでも成果があれば費用対効果が高いといえるが、少ない投資であれば得られる効果は投資金額に応じたものになるため、全体のインパクトは小さい。また低予算で実施という条件は、人件費をどう考えるのかが重要な課題である。ボランティア頼みの事業では持続しないことは明らかである。多くのまちづくりの現場で見られるように、事業が打ち上げ花火のように単発で終わらないためには、人件費を確保するか、動機付け（インセンティブ）を考える必要がある。それが出来ないのであれば、既存事業にうまく合わせていくことが必要となる。

(2) 各象限の説明

こうした観点を踏まえ、今回の調査研究の提言を図 1 にまとめた。図 1 では、縦軸をハード活

用とソフト活用、横軸を既存事業と新規事業の２軸とし、上記分類表の大項目から、第１象限には「モノ」、第２象限には「その他（行政施策）」、第３象限には「ヒト」、第４象限には「コト」、さらにハードとソフトの中間で「ヒト」「モノ」「コト」に関わる部分に「ワザ」を配置した。

第１象限の「モノ」は、商品開発や宣伝媒体を使うなど、即時的かつ目に見える効果が得やすい提案である。新たな PR 商品は消費を通じて一般の人への理解を深める。看板や冊子など宣伝媒体があれば普段意識をしない多くの人の目に触れることになり、日本遺産の認知度も上がるだろう。しかし世の中には多くのモノや宣伝ツールがあふれている。なにより商品開発や宣伝媒介制作には費用はかかるという問題がある。

第２象限は「その他（行政施策）」である。具体的には「行政が整備するマンホールの交換時に日本遺産のデザインを施したものに変更する」という提案があった。またハード活用の範疇には入らないが、行政が高岡日本遺産の日を制定することや、ふるさと納税に日本遺産に関する商品を取り入れる提案は「その他（行政施策）」に含めている。

低予算でできるのは第３象限の「ヒト」である。既存事業である学校教育との連携は教員が対応する限り人件費が発生しない。ハードも必要としないため、追加的な費用はかからない。児童・生徒への啓発は将来を担う人材の育成にもつながるだろう。今回の大学で実施した企画づくりの授業もこれにあたる。ただし小中学校では学校現場の教員負担が増加するなか、正規のカリキュラムとするには教育委員会との調整が必要となる。

第４象限は「コト」である。イベント企画やコンペの実施、モデルツアーの考案である。アイディア次第で低予算で実施するイベントもある。これまでにない魅力的なモデルコースを考案できれば認知度向上に寄与するだろう。コンペも有効なツールであり、募集から応募、選考の各プロセスで何度も広報されることから認知度向上に寄与すると考える。ただし質の高い応募者を求めるなら一定の賞金や景品を用意する必要もある。コストをかけない見返り（名誉など）など工夫が求められる。

これらのヒト・モノ・コトに関わるのが「ワザ」である。これは SNS や動画による配信や、VR 技術などの活用である。アフターコロナでは VR 技術を用いた情報発信は、観光やまちづくりでスタンダードとなる可能性がある。この SNS や VR などの技術は新規性が高いため第１象限、第４象限寄りとした。またソフト、ハードの観点では、電子端末などのハードと SNS 発信や VR 作成技術などのソフトの双方に関わることから中心に位置づけた。

（３）実施プロセスの提案

これまで各象限の説明をしてきたが、これらのヒト、モノ、コト、ワザ、その他は独立して行われるべきではなく、順序立てて相互におり交ぜていくことで相乗効果を生み出す。まずは第３象限の低予算で実行可能な「ヒト」の事業を中心にスタートし「小さく始めて大きく育てる」ことを意識する。それらの小さな成功を重ねつつ、第４象限の「コト」の事業に進み、低予算で実行可能なアイディアを取り入れた事業を展開する。最終的には一定の予算をかけて実施する「モノ」の事業を展開するというものである。この「ヒト」への投資で児童・生徒の啓発を図り（特定少数）、「コト」への投資でより地域住民（特定多数）への啓発につなげ、「モノ」への投資で一般の人たち（不特定多数）に広げる、認知度向上に向けた取り組みにはこの反時計回りの戦略的なプロセスが重要になるのではないかな。

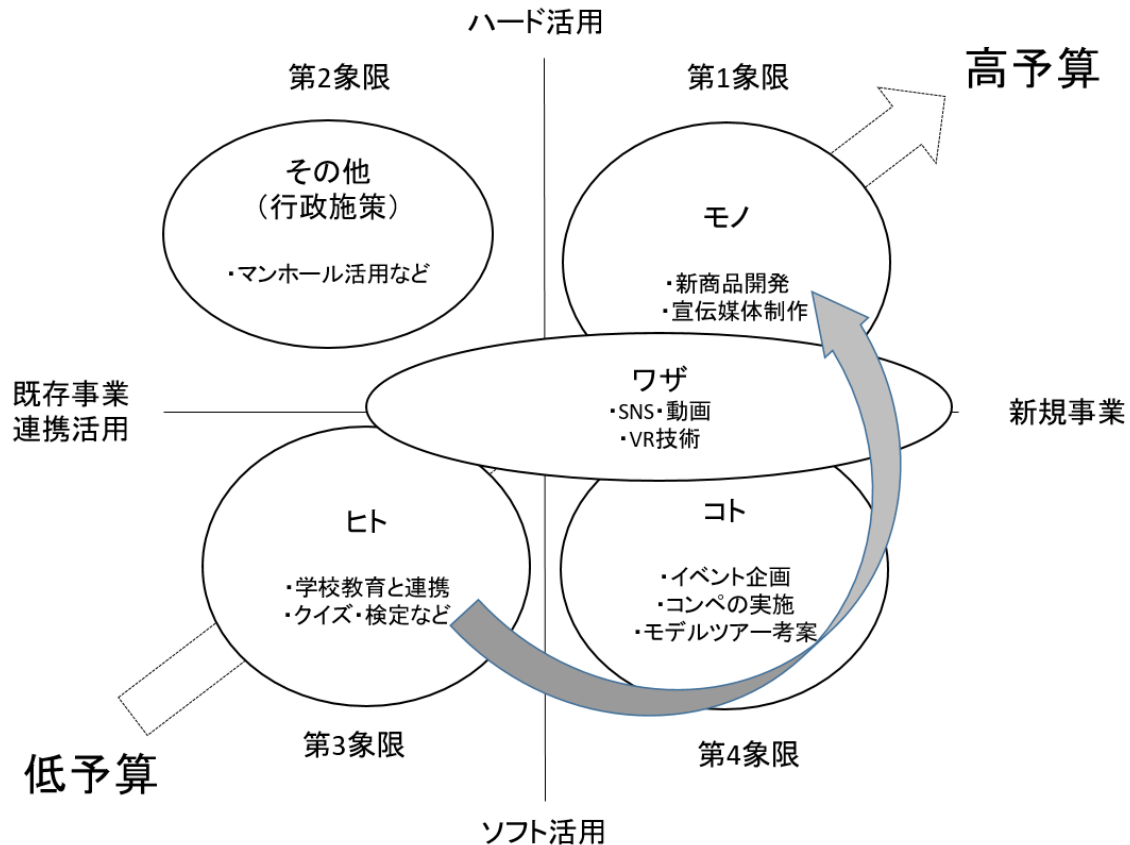


図1 認知度向上にむけたと実施プロセスの概念図

6 課題解決策の自己評価

今回の研究では、日本遺産ポータルサイトなどから全国の日本遺産認定地で行われている認知度向上の取り組みも調査した。多くの地域では、日本遺産 PR 用の HP 作成、チラシ・パンフレットの作成、外国語対応の情報発信、テレビ・ラジオからの発信、のぼり旗の制作、個々の日本遺産についての親しみやすいアニメや漫画の制作、有名人とコラボした情報発信など類似した事業が列挙されており、高岡市でも多くが実施済であった。

こうした状況で①低予算で行うことのできる新たな取り組みの試行・提案、②特に若い世代をターゲットとした認知度向上、という 2 つの命題を満たす提案を考えることは極めて難題であった。単なる思い付きを列挙し実施してもうまくいく保証はない。さらに実施できる資源（人材、予算、時間など）も限られており、複数の企画を実施検証することは難しく、今回は学生への啓発事業と企画づくりを中心に事業を実施した。

企画の整理は、今後の事業実施に役立つデータを提供するため、テキストマイニング、KJ 法などで抽出し、科学的な根拠に基づくものとした。また今回は実施可能な具体的な方策を考えるため多くの提案を作成することに注力した。今後の認知度向上に向けた事業を実施するために有用な情報を提供できたと考える。

なお繰り返しになるが「低予算で行う」事業において、人件費の考え方について再検討が必要であろう。また事業の実施方法については実施主体も含めて検討の余地があると考えます。

別添資料：学生による提案一覧

学生による認知度向上にむけたアイデア一覧

大区分	中区分	小区分	タイトル	内容
ヒト	学校教育	教材開発・活用	物語の読み聞かせ	児童・学生を対象に、日本遺産に登録された物語を扱った絵本や紙芝居を読み聞かせる。物語を身近に感じてもらうため。高校生や大学生が小さな子供に読み聞かせに行くのも良い。
ヒト	学校教育	教材開発・活用	高岡物語紙芝居・絵本	幼稚園児や小学生向けの紙芝居・絵本を制作。高岡市にある幼稚園・小学校に配布し読み聞かせをする。図書館にも配置。小さな頃聞いた桃太郎のような昔話は成長した今でも覚えている故に成長しても高岡の歴史を覚えてもらいやすくなる。
ヒト	学校教育	教材開発・活用	高岡歴史紙芝居	読み聞かせ用の紙芝居。対象は、保育所や小学校など。高岡の歴史の中のどこか一部分を抜き出して(例えば高岡城開城)10分程度のストーリーを紙芝居で読み聞かせをする。子供たちは、何のことが詳しくは分からないけれど、物語として歴史を記憶してくれるのではないかな。
ヒト	学校教育	教材開発・活用	高岡でみる日本史	高岡が歴史上の出来事や偉人とこんな関わりがあったんだ！ということを冊子にまとめ、親近感を持ってもらう。例)教科書でなんとなく暗記した「一国一城令」、当時はこんなに大変だった！→高岡城の廃城の歴史のコラム。歴史を学ぶ子供達に配布することで、学びに役立ててもらう。
ヒト	学校教育	教材開発・活用	大人も子どもも楽しめる読み聞かせ企画	今まで発信してきた新聞型のパンフレットを紙芝居にして図書館や幼稚園・保育園、小学校に寄贈して、読み聞かせに使ってもらう。
ヒト	学校教育	教材開発・活用	高岡日本遺産絵かるた	高岡の日本遺産に由来した絵カルタを制作し、そのカルタを高岡市の小中学生に配布する。クラスにも1つずつ配布し、子どもたちが遊びながら自然と高岡の日本遺産を学ぶ。保護者も子どもと遊ぶことで市民全体の認知度を高める。
ヒト	学校教育	教材開発・活用	日本遺産かるた大会	高岡市の小学校や中学校に日本遺産について書かれたかるたを配り授業としてかるたに取り組んでもらう。一年に一回、有志を募って大会を開催する。
ヒト	学校教育	教材開発・活用	高岡の日本遺産かるた大会	高岡の日本遺産の魅力や特徴、豆知識などが書かれたオリジナルかるたをしてもらうことを通して楽しく学習できると共に人々とコミュニケーションをとることができる企画。個人的には子供たちと高齢者の交流機会となれば良いと考えている。
ヒト	学校教育	教材開発・活用	かるた	日本遺産の物語を分かりやすく50音でまとめることが出来れば、頭にも残りやすいし何よりお土産としても面白い。学校で大会などを開くこともできる。
ヒト	学校教育	授業	授業 日本遺産から高岡を学ぶ	小学校の総合学習の授業で、日本遺産をベースに高岡を学ぶ。訪れたことがある構成要地の知識や、日本遺産の物語に関連した体験の共有、体験学習。紙芝居の作成。絵本を作成。
ヒト	学校教育	授業	芸文×日本文化遺産	今回の講義のように、提案できる機会を設けたり、webサイトの制作協力等、芸文の学生が取り組める機会を増やす。芸文以外の学生(小・中・高生)にも行うことで、若年層に「自分事化」を促し、地域住民のアイデアを活用することができる。(スツキリと自分事化するために、強制させることはよくないと考えます)
ヒト	学校教育	授業	小学校の授業で日本遺産を扱う	小学校の総合の授業などで日本遺産を取り上げ、実際に現地調査も交えながら日本遺産について調べ学習をしていくことでまずは市民の認知度を上げていく。調べ学習がしやすいように学校の図書館にもパンフレット等の日本遺産についての資料を設置したらよいと思う。

ヒト	学校教育	授業	子どもへの教育の一環としての日本遺産	小学校・中学校の総合の授業の中で日本遺産についての授業を行う。実際に日本遺産に関連するところを巡ってもらったり、日本遺産新聞的なものを作ってもらったりして、子どもたちの理解を深める。高校でもそういう時間があれば市外から通っている人にも知ってもらえるのではないかなと思う。
ヒト	学校教育	授業	校外学習	特に小学生は、学校を出て勉強をするということにすごく関心があるのではないかなと思う。そこで小学生に日本遺産について知ってもらい、どう発信していけば良いか考える授業を行う。小学生の斬新な発想力に期待できると思う。
ヒト	学校教育	授業	地元の学生にしてみもらおう。	小学や中学である総合の授業で、高岡の日本遺産について学ぶ場を設ける。地元について知ること、地元の良さ再発見につながり、将来的に地元の活性化につながると考える。
ヒト	学校教育	授業	高岡市外へのPR	小中学校の教科書に載せてもらう。高岡市外富山県外にもポスターやのぼりを置かせてもらう。
ヒト	学校教育	授業	学内アンケートを発表する	学生アンケートで高岡の日本遺産の中で一番印象に残る遺産を聞き、ランキングを作ってホームページなどに掲載する。
ヒト	学校教育	行事	遠足	小中学生の遠足の目的地に高岡の日本遺産を設定する。遠足なので普段の授業と区別するためにフィールドワークなどはあまり行わず、日本遺産の建造物と同じ空間で楽しい時間を過ごすことを目的とする。日本遺産は難しいものではなく、身近にある誇れるものなのだとということを感じてもらおう。
ヒト	学校教育	行事	思い描くmy高岡城(小中学生向け)	今は城跡しか残っていない高岡城を、小中学生を中心に、自分の思い思いに自由に描いてもらう企画。完成した優秀作品は、展示やちょっとしたグッズ制作に使用。
ヒト	学校教育	行事	日本遺産の写生大会	一年に一回小学生と中学生向けに自由参加で写生大会をする。高岡市内だけでなく他の市町村の子供でも参加可能にする。優秀者には景品を贈呈する。
ヒト	学校教育	行事	(小中学生向け)高岡の日本遺産を写生コンテスト	高岡市内の小中学生に、高岡の日本遺産の構成文化財の絵を写生してもらい、コンテストを実施する。定期的に開催し、優秀作品は巡回で公開していく。
ヒト	学校教育	行事	日本遺産ポスターコンテスト(小中学生向け)	小中学生を対象に、地域ごと、県ごとの日本遺産をポスター用に描いてもらう。定期的に開催。優秀作品は本物のポスターとして県内または全国に張り出される。
ヒト	学校教育	行事	小学生・中学生向け日本遺産ストーリーワークショップ	リアルタイムで日本の歴史を学んでいる小学生や中学生を対象とした遊びながら学べる高岡日本遺産のワークショップを開催する。高岡ことをもっと知ってもらうことに加え、学校での学習の定着も狙うことができる。
ヒト	学校教育	自由研究	夏休み自由研究 高岡の日本遺産	小学生の自由研究で高岡の日本遺産の構成文化財を各々調べてもらい、その中から特に素晴らしいものを三つ選出し、表彰する。入賞者には景品が当たる。

ヒト	学校教育	自由研究	小学生集まれ！！夏休みの宝探し！！	【対象】市内や近隣の市の小学生【時期】夏休み【方法】台紙を配布し、その紙を持ち歩き宝探しをする【内容】・高岡市内の日本遺産をスポットに設定する。・指定された場所のどこかに宝がある（宝は小さいから敷地中を探さなければならない）・宝にクイズや謎解きを書いてあり、その答えを台紙に書き込む・これを指定されたいくつかの文化遺産かで行う・すべての答えを揃え（すべてのスポットを回る）、台紙を本部に提出・抽選で数名に豪華な景品が当たる・全員に参加賞あり【効果】・高岡市の魅力の再発見 高岡市の問題のひとつに住民が高岡の魅力に気づいていない点が挙げられる。宝探しで市内を周遊することで、小学生だけでなくその親たちも高岡市の魅力に気づくことができる。・小学生に夏休みを楽しむ機会を提供することができる 近年の小学生は外に出て遊ぶことが少なくなっている。この企画では外をたくさん歩くことを想定しているため、宝探しを通じて、小学生に屋外で遊ぶ機会を与えたい。
ヒト	学校教育	自由研究	日本遺産についての自由研究（小学生向け）	小学生が高岡の日本遺産について調べ、それぞれまとめてもらう。
ヒト	学校教育	自由研究	小中高校生の総合活動	若い層への認知度をあげるため、学生たちに自分たちで調べ、それぞれ形（例：劇、パワポ）で発表してもらう。自分たちで調べるのでよく学べるし、親御さんに観てもらったりすると良いと思う。
ヒト	学校教育	課外活動	日本遺産×芸術文化学部コラボ①	日本遺産や高岡市をPRするフリーペーパーを芸術文化学部の学生が制作し、高岡駅をはじめとする市内数カ所に置く。すでにフリーペーパーサークルがあるが、有志で活動しても良い。大学生が取材・デザインすることで、日本遺産が親しみやすいものとして伝わるのではないかな。
ヒト	学校教育	課外活動	日本遺産×芸術文化学部コラボ②	日本遺産付近で芸術文化学部の学生がワークショップを行う。漆のアクセサリや鍛金でのネームプレート やリング作りなど、老若男女問わず伝統工芸に触れられるものを開催する。単に行うよりも、日本遺産という特別な場所で行うことで、集客効果が期待できると思う。
ヒト	学校教育	ランキング作成	学生が選んだ高岡の日本遺産構成文化財人気ランキングの実施	学生の視点で日本遺産の構成文化財のおすすめを投票しランキングを発表。投票理由も聞くことで若い人が好む日本遺産構成文化財を表出化する。
ヒト	生涯学習	クイズ・検定	高岡日本遺産クロスワード	高岡の日本遺産に関するクロスワード。体の都合が悪く外に出られない方や、県外の方、またなかなか高岡を回る時間がない方の隙間時間などに適する。スタンプラリーに比べて参加がしやすいことと、年齢層の幅が広がるように思う。
ヒト	生涯学習	クイズ・検定	日本遺産に関するクイズ大会	近年、テレビでクイズ番組が増えている。それほど需要があるということだと思うので、日本遺産に関わるクイズを参加型で行えば少なからず話題になるのではないかなと思う。
ヒト	生涯学習	クイズ・検定	どこでも日本遺産クイズ	高岡駅から万葉線の停車駅など、県内外の人々がよく利用する所に一問ずつ（もしくは何問か）を目の付く箇所に掲示する。電車の待ち時間に見てもらうことで気軽に楽しく日本遺産をかじることができる。
ヒト	生涯学習	クイズ・検定	謎解きイベントの実施	イベントの中で各所の文化財を巡りながら謎を解いていく。仕掛けられた謎には、高岡の日本遺産に関わる歴史や文化財に対する事前知識が必要となるものも用意する。参加者には事前に高岡市HPで勉強するよう案内。
ヒト	生涯学習	クイズ・検定	おうちでクイズラリー企画	「おうちで高岡日本遺産クイズラリー」サイトを開設し、自宅からでも参加できるクイズラリーを行うことで密状態になることを防ぐ。高岡の日本遺産についてクイズ形式で楽しんでもらう。クイズクリア賞品として商品券・割引券などを配布することで現場に来てもらうきっかけにする。

ヒト	生涯学習	クイズ・検定	高岡の日本遺産に関する内容のクイズ大会	ウェブ上で開催し、スコアが高かった上位者には高岡で利用できる商品券などをプレゼントする。
ヒト	生涯学習	クイズ・検定	利家くんどリル	日本遺産にまつわるエピソードで漢字を勉強したり、前田利家に関係のあるもので学習ドリル(プリント)を作る。対象:小学生
ヒト	生涯学習	クイズ・検定	高岡お散歩クイズ	高岡の日本遺産に関係するスポットを巡ってもらう取り組み。ただ、スタンプを押して回るわけではなく、各場所にクイズを設置し、正解だと思う選択肢のスタンプを選んで押してもらう。最終的な正解数に応じて景品を用意する。深く学ぶことができ、考えることで知識に繋がる。
ヒト	生涯学習	クイズ・検定	あなたは何級？高岡日本遺産検定！	Web上で、誰でも気軽に受けられるクイズ。1級～3級(それより多くてもよい)まで用意し、それぞれのレベルにあった問題を10問程度用意する。写真やイラストを使ったポップな印象の画面で、大人も子供も楽しみながら学ぶことができる。また、腕試し感覚であれば、誰でも挑戦してみたいと思う。
ヒト	生涯学習	クイズ・検定	高岡日本遺産検定	主に小中学生を対象に日本遺産についての問題を使った検定試験を開催。日本遺産とは何か、高岡にはどのような日本遺産があるのかを学んでもらうため。意欲向上のために成績優秀者には賞や景品を贈呈。検定対策として学校の授業で高岡の日本遺産を扱い、保護者や地域住民へプレゼンしてもらう。
ヒト	生涯学習	クイズ・検定	瑞龍寺門前市でのミニイベント「クイズ！あなたはどれだけ日本遺産について知っている？」	瑞龍寺では毎年、門前市が開催される。多くのお店が出店し、多くの人が集まる。しかし、せっかく瑞龍寺まで来たのに、瑞龍寺について無関心だと、勿体無いと感じる。そこで、お店側が、商品を提供する際に、瑞龍寺や日本遺産についてのクイズを出し、客側が答えて、正解すると店側から割引やトッピング等のサービスがもらえるという仕組みを取り入れる。 →客側は、割引・サービスを受けるために知識を身に付け、知らないうちに瑞龍寺や日本遺産に関する知識がアップする。
ヒト	生涯学習	公演企画・実施	学校で日本遺産劇	幼少期の記憶はよく覚えているモノだから、簡単にでも物語がわかる劇を行ったら大人になっても話がわかる人間が増えると考えた。
ヒト	生涯学習	公演企画・実施	演劇「加賀前田ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡―人、技、心―」	高岡の日本遺産の歴史ストーリーを演劇にして公開。高岡文化ホールなど市内外で公演。市民参加型の演劇も楽しいかも。参加することでより深い理解と愛着を感じる。
ヒト	生涯学習	公演企画・実施	日本遺産に関わるストーリーの劇	日本遺産に関わるストーリーを参考にストーリーを作り、劇を行う。漫画作品などの実写劇なども増えてきているので、歴史物や実写劇に興味がある人たちに注目を集めると思う。
ヒト	生涯学習	公演企画・実施	日本遺産の物語を演劇に	地元の高校生や大学生に高岡誕生の物語を演劇にしてもらい、お祭りや学校の文化祭等で披露し、若い世代やその親が高岡の歴史を知る機会を作る。演劇の動画はYoutubeにアップし他府県の人にも知ってもらう機会を作る。
ヒト	生涯学習	公演企画・実施	高岡日本遺産かみしばいコンテストの実施	高岡の日本遺産のストーリーを表現する紙芝居を公募する。ストーリー全体での公募でも良いが、章節ごとに分けて、そこから選択してもらい、それぞれの部門をつくっても講評しても良いのではと思う。優秀作品は賞品授与とともに実際にイベントでの読み聞かせやHPへの掲載を行う。
ヒト	生涯学習	公演企画・実施	日本遺産ストーリーを台本にして学習発表会で披露してもらう。	高岡市の日本遺産ストーリーを台本にして小学校に提供し、その台本を学習発表会の劇に使ってもらう。劇を通して、児童や劇を見に来た親御さんに高岡の日本遺産について知ってもらうきっかけをつくる。
ヒト	生涯学習	公演企画・実施	劇	高岡市の歩みを小学生に劇として演じてもらう。広島市のカーブの劇みたいな感じで。

ヒト	生涯学習	教材開発・活用	日本遺産のすごろくを作ろう(子供向け)	日本遺産のスタンプorシールを実際に訪れてマスを埋める。マスには番号とその日本遺産はどこか問うクイズになっており、訪れた先で実際に番号が合っているかで答え合わせを行う。ただ日本遺産を回るだけでなく、その後もすごろくを通して歴史を振り返ったりして楽しむことができる。
ヒト	生涯学習	教材開発・活用	すごろく	物語をすごろくに見立てて「楽しんで覚えてもらおう」というもの。すごろくのコマを地域の名産品の形にするなどの工夫をすれば魅力を最大限に盛り込むことができると思う。
ヒト	生涯学習	教材開発・活用	遊んで学ぶ歴史すごろく(小学生向け)	日本遺産になっている高岡400年の歴史を楽しく学ぶために、すごろく形式で楽しみながら知ってもらう案。遊んだ後は実際に町に出てみるとより高岡に親しめそう。
ヒト	生涯学習	教材開発・活用	すごろく「高岡の日本遺産」	高岡の日本遺産の物語を学べるようなすごろくを作り、ダウンロード・印刷して遊べるようにする。
ヒト	生涯学習	講座	写真教室	スマホのカメラを使った写真の撮り方を参加者が学べるもの。被写体を日本遺産にする。参加者に持ってきてもらう条件で、再流行している「写ルンです」を使うのも良い。最終的に参加者が撮った写真で簡単な写真集を作成する(全員配布、希望者に販売など)。
ヒト	人材活用	PR人材	PR隊	物語に関わってきたご先祖様になりきり、様々なイベントなどで劇や交流などを行う。例)宮城県、伊達武将隊
ヒト	人材活用	PR人材	ボランティアPR	地域の高齢者など地元で詳しい人たちでボランティアチームを作り部活動的に活動する。
ヒト	人材活用	PR人材	高岡の日本遺産をコンセプトにしたご当地アイドルグループ	具体的内容 地元の学生をメンバーとしたストーリー性重視のアイドルグループを結成し、各地でライブを行ったり、MVを制作、CDの販売を行う。
ヒト	人材活用	PR人材	地元の美男美女PR	地元の美男美女にPRしてもらう。富山県は天気が悪いことが多いから肌が綺麗な美人が多そう。以前電車に乗っているときに電光掲示板で何処かの県がそのようなPR動画を流していたが、方言などを上手く使っていた魅力的に感じた。タレントに頼むより安い。
ヒト	人材活用	PR人材	前田利長公とゆく。古き良き街、高岡。	観光地などでよく見かける“お出迎え武将”。今の高岡を作り上げたといっても過言ではない「前田利長公」をお出迎え武将として招き、現代を生きる私たちを引き連れて、高岡の街を巡るツアー。
ヒト	人材活用	PR人材	観光手助け事業	高岡の日本遺産を巡りたい人向けに、おすすめスポットを紹介したり、順路決めの相談をしたりするサービス。ボランティアで地域の人々が協力し、地元の人々の視点から意見が聞けるシステムにする。
ヒト	人材活用	PR人材	コスプレイヤーのお手伝い	日本遺産をコスプレの撮影地として貸し出す。写真と一緒にSNSに投稿してもらうことで宣伝効果の期待ができると思う。(一つ目の案とも一緒にできそう) 超ターゲットを絞った案。
ヒト	人材活用	PR人材	車掌:利家くん	万葉線や路線バスの各駅の案内などを利家くんがすることで利家くんのことを知ってもらったり、日本遺産に選ばれたことの宣伝になる。対象:万葉線や路線バスの乗客
ヒト	人材活用	PR人材	Welcome! 商人の街・高岡	TAKAOKA発! 瓦版に使われているキャラクターを模して、かつて城下町として高岡が栄えていた時代に生きていた人々になりきり、歴史を感じさせるような空間を作る。江戸の瓦版売りが、TAKAOKA発! 瓦版を配っていたり、商人が食べ物売っていたり、職人が目の前で鉄を叩いていたなどする。情緒ある金屋街で行くと雰囲気が出やすいと思う。
ヒト	人材活用	ネットワーク	高校生一日観光大使(高校生向け)	伝統工芸などに興味のある全国の高校生から、高岡の伝統にふれてもらう観光コースを一日体験してもらう方法。(工芸を学ぶ芸文生も数人参加可にしてみるのもあり)若い人への発信と将来大学進学を考えている高校生に芸文を知ってもらう二つの効果を兼ねる。

ヒト	人材活用	ネットワーク	全国の「高岡さん」を日本遺産大使任命	全国の高岡さんに日本遺産大使を任命する。HPなどで募集を行い、応募者には日本遺産大使〇〇という任命書と名刺を配布し、PRに貢献してもらう。年に1度、高岡さん交流会を実施する。有名人として代表は高岡早紀。
ヒト	人材活用	ネットワーク	日本遺産PRリレー	有名人に日本遺産PRリレーみたいなことをしてもらう。最初は地元のちょい有名人のツテから始めてどんどん有名になっていけば。
ヒト	人材活用	ネットワーク	日本遺産の町、交換留学制度！	高岡だけでなく、日本中の日本遺産の町に住む学生たちを呼び込み、一日かけて町をめぐり知ってもらう。逆に高岡市に住む学生(芸文生)が日本中の日本遺産の町に行きそこで現地の人と交流し魅力を教えてもらい、かつ地元の高岡についてもアピールをすることができる。
ヒト	人材活用	ネットワーク	協力PR	地域の物語の日本遺産自体の知名度が低い為、高岡以外の地域と協力することで資金面で余裕が出来る。
モノ	商品開発	食	日本遺産おせんべい	日本遺産の物語が焼き印されたおせんべい。一枚のおせんべいに1～3文ほどの文章。大袋で全文章が揃っている。ゆかりのあるキャラクターのイラストが描かれていてもかわいい。
モノ	商品開発	食	高岡 日本遺産弁当	高岡市内にある人気料理店と協力して、構成文化財に因んだ弁当をつくり、高岡駅などで販売する。協力店舗と対象となる文化財は3か月に一回変わる。
モノ	商品開発	食	日本遺産パフェを作って食べよう	高岡のカフェなどで日本遺産を模したパフェをお客さんが自分で盛り付けする。
モノ	商品開発	食	高岡の日本遺産をラベリングしたペットボトル飲料をつくる。	高岡の日本遺産の写真やイラストをラベリングしたペットボトル飲料をつくる(限定コラボのような)。高岡市内のみの限定販売から始める。ラベルには日本遺産ページに飛べるQRコードものせる。
モノ	商品開発	食	日本遺産に関する食品フェア	火ゴリ多く目に触れるところといえば、衣食住にも入る食に関する部分だと思う。従ってスーパーなどで日本遺産の日の前後にかけて日本遺産フェアとして関わりのある特産品などを売り出せば認知度は上がると思う。
モノ	商品開発	食	日本遺産のグルメを発信	日本遺産にまつわるグルメ食材(例えば北前船の交易で扱われた特産品など)を使った料理レシピを考案し、高岡市の日本遺産サイトページやパンフレット、リーフレットに掲載する。また、定期イベント開催時にはその料理を屋台で販売する。
モノ	商品開発	食	高岡の魅力を伝える給食メニューのコンテスト開催	市内の小中学生を対象に、蒲鉾や西田のたけのこ、キトキトな魚など、高岡の伝統的な食品を使った日本遺産に関連する給食メニューを考えてもらう。グランプリのメニューは、実際に給食メニューとして出され、給食だよりや、市報などを通じてレシピも広く周知させる。一次世代へ自然に引き継がれていく「食」の観点から高岡のストーリーを見ることで、子どもたちの学習と感覚を結びつけ、親世代にも次世代にもその新たな発見を感じてもらう。
モノ	商品開発	食	手のひらに、おいしい高岡	高岡にある和菓子屋さんなどとコラボして、高岡の日本遺産をイメージした和菓子をつくってもらう。「食」から知る日本遺産も、温かみがあってよいのではないかなと思う。
モノ	商品開発	食	日本遺産と食べる富山のめぐみ！	高岡の日本遺産付近で富山県の特産品を使ったグルメやスイーツを販売する食べ歩きイベントを開催する。高岡市内(難しければ富山県内)で営業されているレストランやスイーツショップに協力してもらい、ブースを用意する。

モノ	商品開発	食	食べもので釣ろう！	このご時世、テレビ番組やネット記事では圧倒的にグルメや料理を題材にすることが多くなった。そのため、富山の美味しい海産物などを関連させることができれば、高岡の日本遺産をP Rできると考える。
モノ	商品開発	食	グルメ開発	高岡市にまつわる何かグルメを作る。ダムカレーのように、高岡市にある日本遺産にまつわる何か。
モノ	商品開発	食	おいしく！楽しく！和菓子と共にめぐる日本遺産	高岡市だけでなく富山県内にある和菓子屋さんとの協力のもと行う企画。例えば、大野屋さんには高岡で大伴家持が詠んだ万葉集の「とこなつ」から着想を得た商品があるがなかなか知名度的には十分ではない、市と協力してもっといたる場所に高岡と関連する和菓子を置いてみる。シンプルに美味しいものがあるところには人が集まる。
モノ	商品開発	食	日本遺産に因んだ給食メニュー	学校給食で高岡の日本遺産に因んだメニューを月に一回提供する。それとともに、その日本遺産の紹介テキストを用意し、給食と一緒に生徒に配布する。
モノ	商品開発	食	コラボ給食	高岡の歴史をイメージしたメニューや、イラストをパッケージに載せたデザートなどを給食で出す。子供たちの認知度を上げるためには、身近なものとの共通点を作ることが近道だと思う。
モノ	商品開発	土産	ナノブロックを製作する	高岡の日本遺産のナノブロックを製作して販売する。
モノ	商品開発	土産	日本遺産のパズル	パズルのピースには番号のみが描かれており、台紙に名称が書かれていて、説明書には番号に対応して名称と簡単な説明がなされている。パズルを完成させると高岡市の形になる。ピースは日本遺産の位置と合うようになっており、具体的な地点にポイントが打たれている。
モノ	商品開発	土産	日本遺産のお土産化	瑞龍寺や御車山会館などの日本遺産に関連する観光地で絵本の販売。(それ以外の場所でも置けるところがあれば置いてもらう)絵本の内容は今までに作った刊行物か、芸文生とコラボして新たに制作する。
モノ	商品開発	土産	日本遺産証明書の発行	日本遺産に登録されたことを証明するもの(専用のグッズなど)を日本遺産の各地で販売する。
モノ	商品開発	土産	日本遺産Tシャツの作成	日本遺産をTシャツの柄にする。デザインは市民や学生に応募をかける。実際に販売し、デザインがうけたものはTシャツだけでなく、トートバックや缶バッチなども作製する。「使いたい」と思ってもらえるようなデザインに。Tシャツを販売し、購入者に日本遺産のことを認知してもらうだけでなく、購入者が実際にTシャツを着用し、周りに日本遺産のことを拡散してもらうことが目的。 地元Tシャツの例： https://www.ttrinity.jp/search/product?q=%E3%81%94%E5%BD%93%E5%9C%B0
モノ	商品開発	土産	御車山の花傘のバッグ作り・傘作り	御車山の花傘はとても可愛い。この可愛らしさを活用して、SNS映えに敏感な高校生を対象に、花傘模様のバッグを制作する。パンチニードルといった、糸を通してニードルを使ってイラストを描くようにステッチをする手芸を用いて、手軽に楽しみながら制作する。また、実際に花傘模様の傘を制作する。話題性があり、雨の日でも気分が上がるし、御車山を身近に感じることができる。制作したものをSNSで学生たちに広めてもらい、御車山の存在も同時に広めていく。→御車山の存在を違った視点から知ることができる。
モノ	商品開発	土産	日本遺産オリジナルスタンプギフト	各日本遺産に訪れた記念として、オリジナルスタンプ(日本遺産の風景画、その他 関連のあるものが描かれている)付きの手軽なギフトセットが貰える。その場で発送も可能。
モノ	商品開発	土産	高岡市の日本遺産コラボグッズ制作	高岡の新たなお土産として販売する。
モノ	商品開発	土産	集める高岡の日本遺産	各日本遺産の拠点で、それぞれ違う絵が描かれた紙風船(富山の薬売りが配っていた形)を配布する。収集欲を掻き立てることで、実施に足を運んでもらう切っ掛けになると考える。

モノ	商品開発	土産	高岡の職人さんガチャガチャ	過去に行われた職人のスタンプラリーに合わせて、それを立体化したミニチュア職人さんフィギュアを作成する。それをガチャガチャにして文化財のところに設置する。それぞれの文化財ごとにレアなフィギュアも用意し、大人から子供まで楽しめるガチャガチャにする。
モノ	宣伝媒体	オリジナルソング	日本遺産のテーマソング	暗記ものは歌にすると覚えやすい聞かため、高岡市の日本遺産のテーマソングを作りテレビなどで流してもらい、覚えてもらう。
モノ	宣伝媒体	オリジナルソング	高岡日本遺産のオリジナルソングを募集する	「高岡」「大仏」「職人」「ものづくり」など、オリジナルソングに使って欲しい単語をいくつか挙げておいて、それらを使用して自由に曲を作ってもらう。対象年齢・曲のジャンル指定はなく、入選したオリジナルソングは、PR動画のBGMとして使用したり、各種イベントで流したりする。
モノ	宣伝媒体	カレンダー	高岡の日本遺産ストーリーをカレンダーにする	高岡の日本遺産ストーリーをカレンダーにして高岡市民に配布する。
モノ	宣伝媒体	キャラクター	ぬいぐるみ製作	タグの商品説明と一緒に物語をつけ、ぬいぐるみ本体と共に物語も楽しんでもらう。絵本みたいな感覚で親子で楽しんでもらえると考えた。
コト	イベント	販売	高岡駅で日本遺産を模した出店を開催	高岡駅の改札前通路で、日本遺産に関する食べ物やお土産を売る出店を開催する。お祭り気分で楽しみながら、高岡の日本遺産を知ってもらう。
コト	イベント	販売	クラフト市場の開催	日本遺産のPRにつながるような作品のみを集めたクラフト市場を開催する。(モチーフが日本遺産である、高岡市の伝統工芸を用いた作品など)。市場に参加してくれた作家さんはHP等で紹介する。クラフト市場も日本遺産、もしくは日本遺産の近辺で行う。可能であるなら、制作費の半分を高岡市が負担するなどにすると応募者が増える。(負担する金額には上限を設ける)。売り上げや参加料でお金を回収。
コト	イベント	販売	ダイレクトワークショップ	金屋町がどういった伝統の街並みであるのかをより知ってもらうために、(出張販売や出店などで)直接商品を販売する方法。
コト	イベント	わらしべ長者	わらしべ長者	高岡の名産品を設置して、ものを交換していく企画。
コト	イベント	わらしべ長者	高岡わらしべ長者動画	武士の町から町民の町への「変化」(無理やり?)と、「ピンチをチャンスに」にちなんで、わらしべ長者ゲームをやる動画。最初はワラを持ち、日本遺産の前で高岡の人が持っているものと交換してもらう。最後にどんなものになるのかはお楽しみに。高岡の人の人間性や日本遺産について知れる。
コト	イベント	スポーツ	マラソン大会	高岡の日本遺産をめぐるようなマラソンコースを設定してマラソンをする。
コト	イベント	スポーツ	日本遺産(リレー)マラソン	日本遺産を回るマラソンを企画する。各遺産で観光兼休息時間を設けてリレー形式なども含めることで体力に自信がない人も参加できるようにする。
コト	イベント	スポーツ	運動会	物語になぞらえた様々なプログラムで、老若男女問わずに地域のみんなで盛り上がる。交流にもなり、団結力の向上にも繋がる。成功すれば他の地域へのPRにも繋がる。
コト	イベント	フェスティバル	日本遺産フェスティバル	日本遺産にまつわるワークショップやステージをイベントで行う。対象:高岡市民・県内外の子ども連れ家族
コト	イベント	フェスティバル	イベント開催	日本遺産の建造物周辺を開催地としたイベントを行う。できれば日本遺産が見える場所が良い。内容例は子供を対象にした工作ワークショップや中高生・大学生によるSDGs関連の発表会と小規模の商品販売(フェアトレード商品など)。来場者に日本遺産について分かりやすく解説した冊子を配布するなど、日本遺産のアピールも行う。

コト	イベント	フェスティバル	日本遺産に関わる祭を開催	日本遺産に関わる日程や場所で祭を開催する。祭を開催すれば多くの人に耳に必然的に、日本遺産である事実が届くと思う。
コト	イベント	ファッションショー	高岡の日本遺産をテーマにしたファッションショーの開催	高岡出身のデザイナーと協力してその構成文化遺産場所でファッションショーを行う。
コト	イベント	ファッションショー	高岡クラフトファッションショー	高岡に受け継がれる伝統的なものづくりの技法を用いた服やアクセサリを一挙に見ることができるファッションショーという形でPRを行う。ショーで使われた衣装は後日高岡市美術館などで展示会を開催する。
コト	イベント	交流会	地域間学校交流会	今までの企画を見た限り、地域内でのイベントなどによって高岡の文化は市内で知られることが多そうだったので、周辺市町村との文化交流を提案したい。学校間での交流などと組合せれば、交流学习として自分の町の文化を調べて発表しあうなどができます。
コト	イベント	コラボ企画	朗唱の会 日本遺産ver	高岡万葉まつり「万葉全20巻朗唱の会」のイベント時に、高岡の日本遺産のものがたりの歌を詠む。
コト	イベント	コラボ企画	高岡日本遺産 獅子舞奉納	高岡市の日本遺産構成文化財前で年に一度獅子舞の奉納を行う。その様子をテレビ放映やYouTubeなどでオンライン配信を行う。
コト	イベント	コラボ企画	シャッター街で城下町再現企画	高岡駅周辺のシャッター街となってしまった商店街にて、現代の城下町風イベントを開催する。職人の出店やワークショップ、食べ歩きできる団子などを中心に執り行う。シャッター街の活気を取り戻し、城下町とはなんなのか知ってもらう。
コト	イベント	アート	高岡市内に日本遺産ストーリーを描く	高岡駅前や御旅屋通りなどの店の閉まっているシャッターに高岡の日本遺産のイラストを描く。
コト	イベント	アート	高岡の日本遺産美術館展	高岡市美術館で高岡の歴史に関わる絵画や工芸品、歴史的書物の展覧会を行う。入り口から出口にかけて時代順に回れるようにすることでその時代にタイムスリップしたようになる。他府県の美術館や博物館から展示の要望きた際には展示品を貸し出す。
コト	イベント	アート	壁画アート	小学生・中学生の学生を対象とし、高岡駅付近の通りで使用されていないシャッターに高岡の日本遺産に関連したイラストを描く、アートワークを行う。楽しく高岡日本遺産について知ることが出来き、駅付近ということから、観光客や利用者に対してのPRにもなる。
コト	イベント	思い出	高岡の日本遺産と私	高岡にある日本遺産構成文化財との思い出やそれにまつわるエピソードを募集し(写真などもあれば)特設サイトにまとめる。
コト	イベント	思い出	みんなで作ろう高岡の木	七夕の要領で、高岡の日本遺産の構成文化財を訪れた人が感想を書いて、木または笹に飾る。これは高岡駅に設置し、観光客の目にとまるようにする。地元の人も行ったことのない場所について知るきっかけにもなる。実際に訪れた人の言葉なので信憑性が高く感じるだろう。
コト	イベント	伝統工芸	職人技×日本文化遺産ストーリー	昔から受け継がれている実際の職人の技術と、それに付随させる形でストーリー(日本文化遺産)を伝える。昔から今まで文化継承されている技術をものを通して手に取り、物語に対して実感を持ってもらう(能作さんなど実際の職人さん、企業とタッグを組む)
コト	イベント	伝統工芸	画材で感じる日本遺産	螺鈿細工や銅などの伝統工芸品と金屋町などの街並みなどの古き趣を感じる色を、色鉛筆や絵具などの画材にして販売してみる案。さらに、その画材を使用して高岡に関する作品を完成させてくれた人には、ラムネなどの粗品が与えられる。

コト	イベント	食	「令和に顕現！加賀藩の台所」	「加賀藩の台所」であった高岡を体感できる、現在のグルメスポットを再発信する。「加賀藩の台所」と絡めたイベント形式や、グルメ情報発信をする。→日本遺産の存在からの還元
コト	イベント	イベント再編	これまで開催したイベントを見直す	新しく企画を考えるのでは無く、過去に開催したイベントを改善して「第二弾」として再開する。より良くなりリニューアルすることでリピーターを増やす。
コト	コンペ	フォト	(一般向け)高岡の日本遺産写真コンテストの実施	一般の人向けに、高岡の日本遺産の構成文化財の写真を撮影するコンテストを実施する。入賞作品は絵葉書(日本遺産のロゴ入り)として販売し活用する。
コト	コンペ	フォト	高岡の日本文化遺産フォトコンテスト	HPなどで募集、より文化遺産の魅力を引き出している写真を募集する。募集した作品はHPやパンフレットなど、市の取り組みに活用できるようにする。
コト	コンペ	フォト	街並みの写真コンテスト	SNSなどで公式アカウントを作り、日本遺産にまつわる和の風景の写真コンテストを開く。集まった写真の中で優勝なものは掲載し、景品を贈呈する。SNSを多く利用する年齢層に効果があると思われる。
コト	コンペ	フォト	写真コンテスト	高岡市にある日本遺産の写真コンテストを開催する。一般から学生まで幅広く参加可能にし、参加者の作品を高岡駅の改札前の通りに設置を行い、優秀作品は観光パンフレットに記載する。
コト	コンペ	フォト	日本遺産フォトコンテスト	毎月、Instagramに共通のハッシュタグをつけて写真を投稿してもらう。そしてその中から優秀な作品を数点選び、表彰、展示する。継続的に実施することで、徐々に規模も大きくなると考える。なお、当企画の広報活動はポスターや公式アカウントで行う。
コト	コンペ	フォト	高岡の日本遺産の写真でひと言を募集	日本遺産の写真で「写真でひと言」を募集する。boketeなどを参考にし、大喜利形式で行う。企画案3と同様に、県内外から注目を集められると考えた。
コト	コンペ	フォト	高岡日本遺産写真コンテスト	市内・市外(県外)の誰でも投稿できる写真コンテストを開催。入賞作品はインターネットの日本遺産の紹介サイトで使用される。毎年春、夏、秋、冬の4回開催することで継続的な活動となり、Webサイトの変化にも繋がる。
コト	コンペ	フォト	日本遺産フォトグランプリ	日本遺産を撮影して応募してもらう。高岡市内からの応募と市外からの応募で分けて応募してもらい、市民と市外民の人の日本遺産の見方の違いを可視化する。グランプリで優勝した作品は市のHPやパンフレットに採用、観光地でのお土産等に使用する。
コト	コンペ	小説	日本遺産を題材とした小説のコンクール	何かの作品の舞台になった場所は聖地巡礼として観光客が増える傾向がある。その場所を高岡市の日本遺産に限定した作品のコンクールを開催することによって認知度を高める。
コト	コンペ	小説	高岡日本遺産の二次創作コンテスト	イラスト、漫画、小説、動画、音楽など…高岡の日本遺産を題材とした作品を市内市外、男女問わず募集するもの。優秀な作品は景品の贈呈、ホームページに寄せたり、(商品化まではいかずとも)作品を紙媒体にまとめたりすると良いのでは
コト	コンペ	小説	中高生日本遺産小説コンテスト	日本遺産にまつわるストーリーを題材にした小説のコンテストを開催する。応募作品または優秀賞はWebサイト上で公開する。
コト	コンペ	小説	高岡市の日本遺産を舞台にした小説を公募	アマチュアの作家たちに高岡市の日本遺産を舞台にした小説を募る。図らずとも執筆の段階で高岡市について調べることになるので、日本遺産についても知識を持つ人が増えるかもしれない。
コト	コンペ	小説	高岡市主催の金工作品コンクール	高岡市出身の作家さんに審査してもらえる賞をつくる。福山のミステリーの賞みたいな。

コト	コンペ	小説	日本遺産をテーマにした小説、漫画の応募	大まかなテーマは日本遺産。ストーリー自体はフィクションでもOK。日本遺産について知るという目的だけでなく、ただ単に小説や漫画を楽しむことを目的として作品に触れてもらい、日本遺産の存在を認知してもらう。
コト	コンペ	映像	プロジェクションマッピング 映像コンテスト	上記のプロジェクションマッピングの映像を一般の人から募集する版。
コト	コンペ	映像	PV作成コンテスト	日本遺産についてPRした数十秒～数分のPVを募集する。優秀作品は実際にTVで流し、高岡市自治体HPで使用させてもらう。
コト	コンペ	絵画	高岡日本遺産絵画コンテスト	企画案1の句をもとに、小中学生の絵を募集する。学校で高岡の日本遺産について学び、そこから自由な発想で絵を描いてもらう。優秀な作品を絵カルタの絵札に採用する。絵を描くことで記憶に残りやすく、展覧会を開くことで認知度も高められる。
コト	コンペ	絵画	高岡の日本遺産の作品コンテスト	全年齢対象に、高岡の日本遺産に関する芸術作品を募集する。「イラスト」「絵画」「写生」などの部門に分けて、広範囲から作品を募集する。優良作品は広報誌にまちもて、高岡市内の家庭に無料配布する。
コト	コンペ	キャラクター	日本遺産キャラクターコンペ	高岡市民を対象に、高岡の日本遺産一つひとつのキャラクターを募集する。イラスト部門、ネーミング部門に加え、高岡を舞台としたキャラクターたちによる物語を応募する部門を設け、高岡の日本遺産を楽しく面白く伝えられそうな物語は、副賞として動画にしてウェブ上で放送する。
コト	コンペ	キャラクター	“ゆるキャラ”グランプリby高岡市民	可愛さだけではなく、インパクトを持ち高岡市の日本遺産の魅力を伝えられる“ゆるキャラ”を応募しグランプリを決める。現在も高岡には大伴家持のキャラクターなどは存在するがインパクトにかけるため冒険するべき。きもかわなどが理想。
コト	コンペ	カレンダー	日本遺産カレンダーを作ろう(一般向け)	毎月日本遺産の写真をTwitterなどで募集し、応募された写真から1枚を選出し、一年を通して翌年のカレンダーを制作する。
コト	コンペ	カレンダー	塗り絵カレンダーコンテスト	Web上に高岡の日本遺産を描いた塗り絵カレンダーを載せる。ダウンロードして印刷することで、絵画が苦手な人でも自宅で気軽に塗り絵を楽しむことができる。カレンダーにすることで、塗り絵が終わった後でも高岡の日本遺産に触れてもらえる。大人向けの塗り絵だけでなく、子供向けのものも作成するなどバリエーションを増やし、より多くの人に楽しんでもらう。 自宅で楽しんでもらうだけでなく、コンテストにも応募できるようにし、入選作品による塗り絵日本遺産カレンダーを販売する。
コト	コンペ	塗り絵	大人の日本遺産ぬりえ	各県の日本遺産のイラストをベースに、大人のぬりえを作る。完成した作品は、投稿フォームに投稿してもらい、HPに掲載する。
コト	コンペ	塗り絵	高岡日本遺産ぬりえコンテスト	日本遺産の風景のぬりえを幼稚園や老人ホーム、駅などで配布する。「大人の塗り絵」が流行したこともあり、幅広い年齢層が楽しみながら日本遺産について知ることができる。
コト	コンペ	ポスター	日本遺産のポスターコンペティション	小中学生に日本遺産のポスターを描いてもらい、優秀な作品を表彰する。表彰された作品は高岡市内に掲示し、日本遺産の認知度を高める。
コト	コンペ	ポスター	ポスターコンテスト	具体的内容 高岡の日本遺産の構成文化財を題材にしたポスターの図案を募集する。優秀作品は実際に、駅やお店に協力してもらい展示する。

コト	コンペ	理想像	理想の高岡城を考えよう	高岡城跡は、古城公園として高岡市民に親しまれていますが、お城好きの方にアプローチするような企画ができれば、新しい観光者の層を獲得できるのではないかと考えました。想像の高岡城を募集して、優秀賞には何か高岡城に関連する景品の授与など。
コト	コンペ	キャッチコピー	高岡の日本遺産宣伝キャッチコピー募集	高岡の日本遺産を宣伝するキャッチコピーを市内の学校や一般に募集する。優秀作品は実際にPR活動に使用し、市民自身が地元を盛り上げるシステムを作る。
コト	コンペ	作文	作文コンクール(子供向け)	小・中学生向けに、日本遺産をもとに物語を書く作文コンクールを実施する。
コト	コンペ	絵本	日本遺産高岡絵本コンテスト	日本遺産は「ストーリー」があるので、高岡のストーリーを絵本にするコンテストを開催。小説より親しみやすく、小さい子でも分かる。優勝者には高岡日本遺産巡りの景品。
コト	コンペ	イラスト	市民オリジナルイラストの募集	市民から日本遺産に関するイラストを募集(高岡市民であれば全年齢対象)し、既存のパンフレットに載せる。自分の描いた絵がパンフレットに載り、市内外の人に手に取ってもらえるのは嬉しく感じるのではないかな。
コト	コンペ	川柳	高岡の日本遺産川柳を募集	サラリーマン川柳、老人ホーム川柳のように、クスリと笑える自虐的な川柳を募集する。北陸は魅力ある観光地が多いため、ただ魅力を伝えるのでは埋もれてしまう。そのため、一歩引いた発信をすることで、県内外からの注目がえられると考えた。
コト	コンペ	似顔絵	君の描いた顔が福笑いに！？似顔絵コンテスト	高岡の歴史を築き、様々な場面で高岡を担ってきた前田利長・大伴家持・高岡大仏の顔を子供たち(幼稚園～小学生)が自由な発想で描く。その中から優秀な作品は、福笑いの顔として使用される。→自分の作品が福笑いになるかもしれないという期待でやる気が上がり、また自然と高岡を担ってきたヒト、モノの存在とストーリーを知ることができる。
コト	ツアー	スタンプラリー	万葉線の旅	【対象】万葉線を利用する人【内容】・万葉線を使ったスタンプラリー・高岡駅スタート/越ノ湯駅折り返し/高岡駅ゴール・イベント専用の乗車券(毎回料金を払うのではなく往復での一回払いにする/毎回車掌に見せる形にする/料金は通常より安くする)・万葉線の駅近くのお店や道端スタンプラリーを設置する・万葉線を使って次の駅へ(電車内で車掌さんにスタンプを押してもらう)・全駅で押してもらったら商品がもらえる【効果】・万葉線の利用を促す 高岡市は車社会であるため公共交通があまり利用されていない。イベントを通して万葉線の良さを再認識してもらうことで今後のさらなる利用に繋がるのではないかな
コト	ツアー	スタンプラリー	高岡の日本遺産 構成文化財スタンプラリーの実施	構成文化財の各所にスタンプを置き、コンプリートの際には景品を進呈する
コト	ツアー	スタンプラリー	日本遺産スタンプラリー	高岡市内の日本遺産やそれ以外の歴史的な名所を訪れ、スタンプを集める。全てをコンプリートするとオリジナル商品(またはそれに類する何か)がもらえる。
コト	ツアー	スタンプラリー	スタンプラリー	有名な瑞龍寺をはじめ、地元の人しか知らないようなイベントや名物も含めたスタンプラリー。形式的にならないように、絶対に地元の人と関わらなくてはいけないシステム。
コト	ツアー	スタンプラリー	謎解き×スタンプラリー	高岡の日本遺産制度と関連させた、地域フィールドを活かした謎解き企画。既存のスタンプラリーとの組合せを考える。スタンプラリーは、回るだけですが遊びと関連づけるとことでより楽しい企画に。
コト	ツアー	スタンプラリー	高岡の日本遺産を学べるスタンプラリー	スタンプを全て集めたら商品券などがプレゼントされる。

コト	ツアー	スタンプラリー	手ぬぐいスタンプ	日本遺産の構成文化財の各所にスタンプを置き、高岡で活躍するデザイナーが手がけた手ぬぐいにスタンプを押してもらい、すべて押すと手ぬぐいが絵のように完成するようにする。完成した地点にばえる工夫をした撮影場所も作り、SNSなどにアップしてもらい。ハッシュタグに日本遺産と入れてもらう。
コト	ツアー	スタンプラリー	日本遺産親子クイズラリーの開催	夏休みに市内の小学生親子を対象として、構成文化財を巡るクイズラリーを実施する。それぞれの構成文化財に因んだクイズが出され親子が協力して謎を解く。謎が解ければ次の行き先が分かる。無事ゴールにたどり着ければ景品が貰える。
コト	ツアー	スタンプラリー	高岡の日本遺産 スタンプラリー	高岡にある日本遺産各所にスタンプを設置し、集めてもらう。コンプリートの他にも何箇所以上かで、景品がもらえるようにする。
コト	ツアー	スタンプラリー	Tシャツスタンプ染めラリーの実施	参加者に白いTシャツを支給。各所の構成文化財を巡り、それぞれの場所でTシャツにスタンプを押していく。コンプリートすると一枚の絵がプリントされたデザインTシャツが完成する。定期的にプリントデザインは新調される。スタンプデザインには芸文性が携わるのがいいのではないかな。
コト	ツアー	スタンプラリー	高岡駅前商店街スタンプラリー	高岡駅前の商店街(シャッター街)の道を有効活用する。高岡駅前をスタート地点、高岡古城公園をゴール地点(地点は場合に応じて変更)として親子連れを対象としたイベントを開催してみるとか。ゴール出来たら景品
コト	ツアー	スタンプラリー	日本遺産パスポート	パスポートの出入国スタンプや、御朱印のように、日本遺産に訪れると、その印としてハンコや手書きの印などがもらえるシステム。地域ごとに特色が感じられる 柄のものがもらえる。その近くに、近隣の日本遺産情報も掲載。ターゲットを不特定多数の人間でなく、日本遺産が好きな人に絞る。高岡をホームに全て集めると景品がもらえる。
コト	ツアー	モデルコース	日本遺産に隠れ高岡大仏	日本遺産の各所に新たな観光ポイントとして隠れ大仏のステッカーなどを貼って探すことを高岡観光の醍醐味のひとつにする。
コト	ツアー	モデルコース	高岡の日本遺産構成文化財のモデルツアーコースの企画提案	テーマ別のモデルコースを作成(女性向け、歴女向け、子ども向け、錫婚式(10年)、磁器婚式(20年)、真珠婚式(30年)、金婚式(50年)など)
コト	ツアー	モデルコース	車で回る日本遺産(一般向け)	車文化の富山の特性から、場合によっては学生も車を持っていたりするので、日本遺産を軸にドライビングコースを設定し、宣伝する。
コト	ツアー	モデルコース	子どもたちのための文化財ツアー	長期休みなどを使って行う、高岡の日本遺産構成文化財をめぐる遠足の延長のようなツアー。子どもむけに噛み砕いた説明を現地で行うことで地元への理解を深めることができる。参加賞として高岡の工芸品などを渡せるとなお良いと思う。
コト	ツアー	モデルコース	万葉線見学会	所謂鉄道オタク(乗り鉄、撮り鉄など)を対象に、万葉線の裏側などを紹介するバスツアーのような企画。万葉線と日本遺産のストーリーを絡めた話や体験を実施する
コト	ツアー	モデルコース	予算別のモデルコースを設定する	年齢層によって、旅行に費やす費用は異なる。そのため、予算別でコースを定め、全ての年齢層に日本遺産観光を提案できるようにする。例えば、「予算3,000円! ハードコース」「予算5,000円! ノーマルコース」「予算8,000円! イージーコース」など。
コト	ツアー	モデルコース	旅行企画	現在はコロナのため、企画は難しいものではあるが、やはりGO TOのような地方へお安く旅行に行けるということは全国で話題になりやすい。また、それをTwitterで拡散する方もいて、それがバズることしばしばあることから、高岡の日本遺産への観光と周知も兼ねて利用できると考える。

コト	ツアー	モデルコース	高岡を巡ろう！	高岡の日本遺産の構成文化財が連携して、そのうちのいくつかを観光した人に対して、高岡市ゆかりの商品をプレゼントする。
コト	ツアー	モデルコース	日本遺産ツアー	高岡市の日本遺産だけを巡るツアーを開催する。目的地に共通点を持たせるため繋がりで見えられやすい。
コト	ツアー	モデルコース	日本遺産まるわかりBOOK	全国の日本遺産とそのストーリーを一冊にまとめた本(またはウェブサイト)をつくる。ターゲットは旅行・歴史好きの人。様々なコースに分かれた「日本遺産めぐり」の提案も併せて行う。
コト	ツアー	モデルコース	日本遺産STORY	日本遺産のストーリーで登場する場所を巡ることができるコースを作る。その時代の前田利家のような格好をして巡る。肌で日本遺産を知ってもらえるようなツアーにする。ツアーのガイドさんもその時代の口調でタイムスリップしたような世界観に！
コト	ツアー	モデルコース	Korare Takaoka, Mawarare Nihonisan	外国人向けのツアーを考える。全編英語の日本遺産ストーリーのアニメを作る(外国人の方が好きな日本のアニメ)。その後で、日本遺産構成文化財のツアーをし、最後にはそのアニメのグッズを贈呈する。その時代の服を着てもらって世界観に入り込んでもらう。
コト	ツアー	モデルコース	利家くんとダイエット	スタンプカードを作り、散歩やサイクリングで日本遺産ゆかりの地を回るとポイントが貯まり、高岡市での買い物に役立つ。対象:高岡市在住の人
コト	ツアー	モデルコース	日本遺産を歩こう。	各日本遺産構成文化財をまとめたマップを作成し、万歩計を搭載した専用アプリで歩数を計ります。歩いた歩数はポイントに換算され、周辺スポットで飲食をしたり、構成文化財においてあるQRコードを読み取ったりさらにポイントが贈呈される。ポイントを溜めると景品と交換できる。
コト	ツアー	モデルコース	フィールドワークツアーの実施(小学生向け)	日本遺産に関する史跡を巡るツアー。ツアーの中で日本遺産の物語を聞きながら、実際に現地の文化財等を見ながら説明を受ける。史跡見学後、部屋に集合しグループごとに学んだことをまとめて発表する。
コト	体験	宿泊	山町筋や金屋町の伝統的家屋(をリノベーションした家屋)での宿泊体験	タイトルの通り、古くなった家屋をリノベーションしたもの、または空き家になった家屋のDIYをして、宿泊としての利用。外観から内観、宿泊する建物の全体を心ゆくまで楽しんでもらう。
コト	体験	ワークショップ	外国人向け高岡の日本遺産講座	日本人よりも日本を訪れる外国人の方が日本の歴史に興味があるため、外国人向けにワークショップも交えた日本遺産講座を開催する。
コト	体験	ワークショップ	地域の生活スタイルに隠れた文化伝承を体験	さまのこハウスをはじめとする「高岡の歴史」を感じられる体験型宿泊施設と日本文化遺産の間で情報連携させる。金屋町の特徴的な家の形状と職人の生活、それに関連する日本文化遺産のストーリー提示
コト	体験	ワークショップ	ペアリング制作体験	錫婚式(10年)、磁器婚式(20年)、真珠婚式(30年)、金婚式(50年)などと絡めて簡単なペアリングの制作を行えるようにする。実際職人の仕事を体験することにより、ストーリーに「実感」が伴うと考える。
コト	体験	ワークショップ	SNS割り！高岡伝統工芸ワークショップ	高岡では様々な場所で工芸のワークショップが行われているが、体験料が少し高いように感じる。体験したお客さんがその場で、体験したワークショップについてSNSで宣伝してくれたら、体験料を割引するという企画。宣伝効果があるのではないかな。

コト	体験	ワークショップ	おうちでものづくりプロジェクト	ネット上でものづくりの体験キットを販売し、購入してくれた方に対して日時を決めて高岡の職人がオンラインで体験をサポートする。コロナ渦で旅行ができないご時世の中でも、自宅で簡単に本格的な体験ができる。
コト	体験	ワークショップ	伝統工芸体験ツアー	【対象】若者【内容】指輪の作成【効果】SNSを通して多くの人に知ってもらえる 若者はSNSに精通しているため、SNSで作成した指輪などを載せてもらえれば全国から若者が集まるのではないかと 思う。・体験を通して伝統文化を知ってもらえる 若者の間で指輪作りが流行っている。ここから、若者は体験を重要視するようになっていくことが分かる。既に出来上がっている物を見るだけではなく、作製を通じて自分の肌で感じることで伝統文化をより伝えることができるのではないかと。
コト	メディア	アニメ・マンガ	どこでも高岡日本遺産	高岡の日本遺産を身近に感じてもらうため、市内を走るバスや電車、アイトラムに、高岡の日本遺産についてまとめられた漫画やDVDなどを設置することで元々興味のなかった人も自然に目にするようになり、よく知ってもらえるようになる。また、藤子F不二雄さんの出身地ということもあるので、ドラえもんなどの人気キャラクターを使うことで注目度が上がる。
コト	メディア	アニメ・マンガ	アニメ日本遺産に出てきた場所を聖地巡礼！	日本遺産の物語をアニメにし、それに出てきたアングルと同じ風に撮れるスポットや角度を示したガイドマップのようなものを作る。
コト	メディア	アニメ・マンガ	漫画の拡散	高岡市について描かれた漫画のデータをTwitterやインスタに無料で載せる
コト	メディア	アニメ・マンガ	高岡の日本遺産を舞台にした短編アニメーションの制作、放映	短編アニメーションを制作し、YouTubeを通して全世界に公開する。
コト	メディア	アニメ・マンガ	某探偵アニメとコラボ	具体的内容 高岡で日本遺産ツアー殺人事件が起き、某名探偵が解決するというアニメを作る。
コト	メディア	アニメ・マンガ	高岡を舞台とした自主制作アニメ	高岡を舞台とし、日本遺産を絡めたアニメの制作。富大芸術文化学部や有志と協力して作る。アニメで市民の認知度をあげ、インターネットで後悔することで聖地巡礼の客層を狙う。
コト	メディア	アニメ・マンガ	日本遺産とドラえもんのコラボ	高岡と言えばドラえもんという印象があるので、国民的キャラクターのコラボできれば知名度も上がるのでは？ドラえもんが日本遺産のストーリーに入り込む話を作ってもらうとか（著作権の問題や金銭の問題があるが）
コト	メディア	アニメ・マンガ	北日本新聞 日本遺産4コマ漫画	日本遺産の物語の4コマ漫画の連載。高岡市の内容だけでなく、日本全国の日本遺産の物語を連載する。公式Twitterと公式Instagramで同時連載する。ウェブ上でも必ず流す。
コト	メディア	映画・ドラマ	高岡の日本遺産ストーリーを映画化・ドラマ化する1	高岡の日本遺産ストーリーをもとにした映画やドラマを作る。全国で上映できる映画やドラマを作れたら理想であるが、お金はかかる。
コト	メディア	映画・ドラマ	高岡の日本遺産ストーリーを映画化・ドラマ化する2	高岡市の高校や大学などの映画研究会や放送部、アマチュアで動画制作などを行っている人から、高岡の日本遺産のストーリーをもとにした動画を募集する。良かった作品には賞を与え、動画サイトやSNSで配信したり高岡市内で流したりする。
コト	メディア	映画・ドラマ	NHKの歴史物の朝ドラに起用してもらう	NHKは歴史ものの朝ドラに定評があるので、そこで起用してもらえるように働きかける。認知度が上がる。
コト	メディア	映画・ドラマ	あの映画にも高岡！	高岡の風情ある街並みをたくさんの人に知ってもらうために、映画のロケ地に高岡の様々な場所を応募する。直接高岡に関りの無かった人も、映画を通して高岡という素晴らしい場所を知ることができるのではないかと。

コト	メディア	映画・ドラマ	ローカルラジオでドラマとして物語を語る	ローカルラジオで放送し、車やラジオを聞く家の人など高岡の人に限定せず多くの人に知ってもらえる。
コト	メディア	広告・看板	交通機関広告	万葉線、加越能バス、タクシー等の交通機関に広告を出してもらう。おそらく公共交通維持のために補助金が投入されているので断られにくい
コト	メディア	広告・看板	日本遺産一里塚	庄川沿い自転車道や日本遺産近くの歩道に最寄りの日本遺産への道のりや距離を示す一里塚を設置する。
コト	メディア	広告・看板	「わたしの高岡、につぼんの高岡」	高岡市民に高岡の日本遺産を宣伝する記事を書いてもらい、良い記事を選出して、高岡のデザイナーやイラストレーターに協力してもらい、絵日記のような一枚に仕立ててタブロイドに組み込む形で市内外に発行。市民の言葉で、日本遺産を広めていく。
コト	メディア	広告・看板	高岡市内各地に「日本遺産さんぽ道」の看板を作る	高岡日本遺産を巡るさんぽコースをつくり、その道順を案内するように道中に看板を立てる。看板には先にある日本遺産スポットの豆知識をのせる。
コト	メディア	広告・看板	高岡市のまちなか日本遺産化	高岡市内の現在人通りが多い場所に、日本遺産をグラフィックデザインにしたステッカーを貼ったりデザインを施す。建物の壁や、高岡は車を使う人が多いので道路にペイントなど。街を賑やかにして、街全体を日本遺産にする。周知度を高める。
コト	メディア	ポスター	日本遺産の物語をポスターに	高岡誕生の物語をいくつかに分け、一眼でどんな歴史があったのかわかるポスターを制作。例）story1:150日で高岡城を築城、しかし6年で廃城へ story2武士のまちから、町民のまちへ大転換
コト	メディア	ポスター	ポスター作成	【対象】全世代【内容】・世代別（小学生/中学生/高校生/大学生/社会人など）に高岡市の日本遺産をテーマにして描いた絵を募集する。・最優秀賞・優秀賞など賞を設ける・受賞者の作品は市内に掲示される【効果】・文化遺産について調べる機会を提供できる 絵を描くに際してモチーフについて調べたり実際に足を運んだりすることになるだろうから、日本遺産についてもっと知ってもらいきっかけになる・たくさんの人の目に留まる 一般の方が描いた絵は企業の広告などより新鮮で目に留まりやすいと私は感じる。そのためたくさんの人に見てもらえるのではないかなと思う。
コト	メディア	ポスター	日本遺産ポスター	日本遺産の指定地に他県の日本遺産のポスターを相互に張る。
コト	メディア	ポスター	日本遺産の物語が読めるポスター	駅構内や電車・バスの中など連続してポスターが張れる場所に高岡の日本遺産の物語を漫画形式にしたポスターを連続で読めるように貼る。第○弾など連続ドラマのようにしてもよい。
コト	メディア	ポスター	ポスター作戦	日本遺産に関する町中に貼るポスターを一般から募集する。小学校や中学校にも声をかけ協力してもらう。自分で作ったポスターが貼られていたら、自分からも宣伝するのではないかと考えた。
コト	メディア	パンフレット	高岡の伝統産業から伝える日本遺産	高岡の発展に大きく貢献した町民文化・産業である漆器や鋳物の体験会やクラフト市場等で、体験者や商品購入者に高岡日本遺産についてのミニガイドブックを配布する。ミニガイドブックには高岡の歴史物語とともに伝統産業の関わりと貢献を記載する。
コト	メディア	パンフレット	高岡の日本遺産で語呂合わせを作る	日本遺産の頭文字をとって、語呂合わせ的にテーマを作り、それを中心にパンフレットなどを作り、配布する。
コト	メディア	パンフレット	子供向け日本遺産紹介パンフレット	小学生などを対象にしたわかりやすく親しみやすい、高岡の日本文化遺産を紹介するパンフレットを制作し学校で配る。教育に組み込むことで子供のうちから高岡市のことを知るきっかけができる。

コト	メディア	CM	日本遺産ストーリーのメディア化	高岡市民自体に高岡市が日本遺産に認知されていることやストーリーすら認知されていない現状から、CMなどほぼ確実に目に入ったり耳にすることができるように、オーディオドラマやアニメーションの制作を行う。
コト	メディア	CM	日本遺産とは？を広める	そもそも「日本遺産」自体の認知度が低いので文化庁などに要請して日本遺産とは何かを広く知ってもらう。テレビCMの放映などで日本遺産自体の認知度を高める。
コト	メディア	書籍	電子書籍掲載	具体的内容 日本遺産物語をカクヨムや小説家になろうなどの電子書籍で無料配信して読んでもらう。
コト	メディア	アーカイブ	高岡の日本遺産 アナデジ アーカイブの実施	高岡の日本遺産に関わる出版物、映画、ドラマ、CM、ホームページ、など、アナログ・デジタルすべての情報ツールを1か所で確認できるポータルサイトを作成する。
コト	メディア	はがきで発信	高岡で元気にやっています。実家に送ろう暑中見舞い(大学生向け)	夏の日本遺産の風景の写真、イラストが入った絵葉書をつかって、実家に暑中見舞いを送る。(年賀状でも可、友人や親戚でも可)。高岡をよく知らない誰かとの話の種になることを期待する。駅前や、大学のキャンパス内に絵はがきを設置する。
コト	メディア	電子掲示板	駅の電光掲示板を使用した広告	現在駅にある広告が、パネルや垂れ幕などの変化のあまりないものなので、電光掲示板や駅地下の巨大モニターなどに映像として映し出すことで、視覚と聴覚に訴えかける広告になる。また、映像にストーリーがあると、見ている人が推測しながらみるので、楽しめそう。
コト	場づくり	フォトスポット	日本遺産フォトスポット計画	日本遺産構成文化財の“この角度が最高”という箇所にフォトスポットとして看板を立て一番良い角度や遠近感の構成文化財の写真を撮ることができる。撮った写真は#高岡日本遺産フォトスポット計画 で拡散し沢山の人の目にとめてもらえるようにする。
コト	場づくり	フォトスポット	御車山の車輪模様フォトスポットの設置	御車山の車輪は、町内によって模様が異なる。とても魅力的で綺麗な模様である。これらを利用したフォトスポットを設置する。企画案3と同様に、SNS映えに敏感な高校生にとって、御車山の車輪の模様は、綺麗で映える。→御車山の存在を知り、興味を持たせ、より深い関心へと繋げていく
コト	場づくり	フォトスポット	みんなで作る日本遺産記念スポット	観光客や地元の人が花の植えたり、スポットの製作に携わり、手伝ってくれた人には前田利家の名刺をプレゼント。
コト	場づくり	日本遺産コーナー	日本遺産を身近に感じようミニ資料コーナーを設ける	2/13「日本遺産の日」に便乗して駅前やイオンなど人が比較的集まりやすいところにボード等を使って気軽に立ち寄れる空間を提供することで人々に日本遺産に興味を持ってもらう。
コト	場づくり	日本遺産コーナー	日本遺産出張所	瑞龍寺、勝興寺、高岡城跡、重伝建地区など敷地に余裕があるところに高岡市役所の主張所をもうけて役所に用がある人が高岡市役所ではなく日本遺産に訪れることで用事をこなせるようにする
ワザ	新技術	SNS	高岡の本気	「富山の本気」というコメントと一緒に美しい富山の風景を投稿しバズっている人がTwitterにいたので、その人とコラボして写真を撮って投稿してもらう。一定数のリツイートがあるので、広く人の目に触れると思う。
ワザ	新技術	SNS	ハッシュタグ企画	例えば「#あなたの高岡日本遺産チャームポイント」というタグをつくり、地元の方や実際に訪れた方にコメントや画像等を使って高岡日本遺産の魅力を発信してもらい共有するSNS企画。 (少しでも参加者を増やすことを目的に1番反応があった方に高岡の特産品などをプレゼントする)
ワザ	新技術	SNS	SNSハッシュタグ企画	日本遺産での観光に行った写真を専用のハッシュタグをつけて投稿してもらう。そのハッシュタグ付き投稿の中から〇名に日本遺産に関するプレゼントなど。

ワザ	新技術	SNS	ハッシュタグキャンペーン	観光客にSNS投稿してもらったら特典として何か贈呈(割引とか)(実際に高岡に訪れていない人も対象)宿泊代無料など。コスプレの背景に使ってもらうなど。
ワザ	新技術	SNS	SNSでのハッシュタグでの投稿	SNSでハッシュタグを利用した投稿で、日本遺産を面白く撮って投稿してもらう。良かったモノに高岡で使えるようなクーポンなどの特典を配布する。
ワザ	新技術	SNS	Twitter案件企画	Twitterの#PRというタグやプロモーションの枠でインフルエンサーに投稿して貰えば多くのユーザーの目に留まりやすく、またそのインフルエンサーのファンの方々からの反応も直接届くので高岡の日本遺産のPRに最適である。
ワザ	新技術	SNS	Youtube案件企画	Youtuberの世間に対する影響は絶大で、案件を依頼する企業も多い。また、芸能人よりも金額も安価で、コストを抑えることも可能なのではないだろうか。
ワザ	新技術	SNS	YoutubeのCM(コスト高ですが。。。)	最近では、テレビよりもYoutubeを見る人が多くなっているので多くの人の目に留まりやすい。特にYoutubeの広告は一回で1つから2つと短い時間しか流れないので、その間CMから離れて他のことをするという事は少なく、より確実に人の目に入りやすい。
ワザ	新技術	SNS	Youtube動画「高岡癒しの風景」	「癒される動画」の類として、金屋町の日常の様子や、職人が今のを作る様子や、お祭りの準備・最中の様子や、瑞龍寺の一日の様子などをアップする。動画をBGMのようにする人も増えているので、そのような需要を考えた。
ワザ	新技術	SNS	YouTube動画「職人のルーティーン」	今日、モーニングルーティーンやナイトルーティーンの動画が流行っている。職人という普段出会わないような人たちがどんな日常を送っているのか木になる人も多いと思う。職人が金屋町や古城公園などを散歩する映像も入れたい。
ワザ	新技術	SNS	旅行系YouTuberコラボ「世界遺産vs日本遺産」	あえて煽るようなタイトルだが、旅行系YouTuberに五箇山などと同時に日本遺産の構成文化財も紹介してもらい、世界遺産に並ぶ知名度の向上を図る。
ワザ	新技術	SNS	高岡の日本遺産告知	YouTubeやゲームなどに流れる広告やCMで発信する。
ワザ	新技術	SNS	高岡日本遺産巡り観光動画配信	ユーチューバーに依頼してYouTubeで日本遺産を巡る観光動画を流す。
ワザ	新技術	SNS	インスタ映えスポットを観光客の手で	#高岡#日本遺産の町でインスタにあげてそれをスタッフに見せたら粗品をもらえる。地元の人にとっては目から鱗のインスタ映えスポットが意外にもあるかもしれない。
ワザ	新技術	SNS	高岡日本遺産SNS発信	目につくようなキャッチコピーやイラストなどでツイッター、インスタグラムなどのSNSでの発信
ワザ	新技術	SNS	高岡SNSプロジェクト	担い手不足の解消を図るため、10代～20代をターゲットにSNSを動かす。YOUTUBEでの動画配信や、Instagramでのフォトコンテスト、Twitterでの情報発信を10代～20代の学生が中の人となって発信する。日本遺産を若い人に知ってもらうきっかけに。
ワザ	新技術	SNS	高岡市ゆかりの人物モデルのVTuber誕生	YouTubeという多くの人々が利用するもので、かつ認知度が年々高まっているVTuberを高岡市でも誕生させ、より気軽に日本遺産の発信を享受できる。
ワザ	新技術	SNS	写真家とのコラボでバズらせる	Twitterでフォロワー数の多い写真家に依頼し、日本遺産に関連する写真を撮って投稿してもらう。興味を持ってくれた人のために、日本遺産のサイトや高岡のサイトも一緒に投稿。

ワザ	新技術	SNS	「丁寧暮らし」インフルエンサーとのコラボ	「丁寧暮らし」「ミニマリスト」を発信するインスタグラマーに日本遺産と関連した高岡の鋳物の良さを発信してもらう。いいものを長く使い、シンプルで洗練されたデザインを好むインフルエンサーにとって高岡銅器は魅力的であると思われ、一般の人もそういうインフルエンサーに選ばれたなら、と感心・信頼も得やすい。
ワザ	新技術	SNS	SNSで広げる高岡の日本遺産	高岡の日本遺産にゆかりのある観光地をSNSに投稿し、その投稿を改札や車掌さんに見せると公共交通機関が割引される。若者の発信力を活かした拡散方法。
ワザ	新技術	SNS	電子の海の高岡日本遺産	SNSを有効活用する。ツイッターやインスタの人気のトレンドやハッシュタグに便乗して、高岡にはこういうのがありますと積極的に宣伝する。高岡を知る人の母数を増やす。市政情報を発信するアカウントと市の観光やグルメを発信するアカウントを分けてもいいと思う。
ワザ	新技術	SNS	芸文生がSNS発信	主にインスタグラムやツイッターで芸文生が高岡の魅力を発信。ただ情報を発信するだけでなく、メイク動画やモーニングルーティーンなど、一見地方のPRに見えないような発信の仕方。自虐ネタなど。
ワザ	新技術	SNS	ハッシュタグを使った写真投稿(若年層向け)	ツイッターやインスタグラムといったSNSで、高岡の写真にハッシュタグをつけて投稿してもらう。高岡の姿を県内外の人に見てもらえると共に、来てくれた若者が日本遺産について知るきっかけになる。
ワザ	新技術	SNS	バズるPR	若者をはじめ多くの人に見てもらえるようSNSを上手く利用する。市が発信する情報は真面目で硬い内容のものが多く思うので、面白ネタなど話題になりそうな内容を意識して発信する。少し変わっている内容で話題になるとテレビニュースなどで紹介されたりして更なるPRになる。例えば毒舌のキャラクターのアカウントを作って発信するなど。また、ハッシュタグを利用し、その内容の投稿を一般人が上げたら特典などがあると良いと思う。
ワザ	新技術	SNS	YouTube 自作ムービーを流す	高岡にある日本遺産についての動画を製作し、YouTubeにアップする。
ワザ	新技術	SNS	家無料貸し出し	日本遺産巡りを自らでして、ブログや写真をSNSにアップしてもらう代わりに、高岡のゲストハウスや空き家を無料で1日貸し出しする。お金をかけずに広告になり、食費や交通費は自費にすれば市民にもお金が落ちる。
ワザ	新技術	SNS	ストーリーを紡ごう Instagram story campaign	Instagramの機能である「ストーリー」(1日経つとその投稿が自動的に消える機能)を利用した、高岡の日本遺産の風景をSNSに投稿するキャンペーン。日本遺産の「物語」と「ストーリー」をかけている。高岡の物語を私たちが今も紡いでいる、ということを体験してもらう。
ワザ	新技術	動画	「うちの地元高岡日本遺産巡りvlog」の制作	ブログの動画版であり、文章や画像をベースにしているvlog。スマートフォンでも制作できる手軽さがある。高岡市の中高生、(大学生)を対象に、実際に日本遺産の各所を回ったり、それぞれが感じる高岡市の魅力をvlogを通して発信してもらう。(大学生も編集などをサポートする) 良い動画であれば、高岡駅などに液晶パネルを設置し宣伝として公開していく。→若者の目線で日本遺産について発信していくことで、また違った目線で日本遺産を見ることができのかもしれない。また、自らが歩いて、見て、感じて、まとめることで日本遺産に対する関心が高まり、自然と学びが深まる。
ワザ	新技術	動画	高岡の魅力を世界に！	現在ある日本遺産のPR動画やPR冊子を英語や中国語など他の言語でも作り世界に日本遺産の物語を知ってもらう。
ワザ	新技術	動画	高岡日本遺産PV制作	遠い地域からでも高岡の遺産のことを知れるようホームページを制作し、掲載する

ワザ	新技術	動画	外国人向けPR動画の作成	【対象】外国人【媒体】YouTube【内容】高岡市の山町筋・金屋町に焦点を当て、それぞれの地域で作られる伝統工芸の製造場面を動画に収める。ただ動画にするのではなく、海外の人を惹きつける編集をする。(ex.英語字幕をつける/製作者目線の制作過程を動画にする)【効果】・ターゲットを海外に絞ることで
ワザ	新技術	動画	日本遺産の前で踊ろう！ in 高岡	高岡の日本遺産や他の観光名所で市民が曲に合わせて踊り、動画にする。市内にある幼稚園や学校、老人ホームや企業に協力をしてもらう。完成した動画はインターネットにアップロードする他、テレビCMや高岡駅のモニターに映す。
ワザ	新技術	動画	PR動画のさらなる発信	講義で紹介された富山大学芸術文化学部OBラップバンド ザ・おめでたズ「ライバルはご先祖様 feat. ayako」のPR動画をSNS等でも発信を行う。また、高岡駅のホームにある電子版に映像を一定時間放送する。県外の都心部にあるメインの駅ホーム(他県の名所を紹介しているブース等)で、PR動画を放送してもらうことで、遠くの県にいても高岡市のことを知ってもらうことが出来る。
ワザ	新技術	動画	動画制作	高岡市の日本遺産にまつわるストーリーをエンターテインメント性の高い動画に仕上げ、YouTubeなどで発表する
ワザ	新技術	動画	PR動画の声優になりませんか？	県内の人なら一度は目にしたことがあるようなご当地日本遺産PR 動画の声優を視聴者の中から募集。応募方法は、Twitter やInstagram などへの投稿を利用。
ワザ	新技術	ゲーム開発	フリーRPGゲームの作成。	高岡市誕生にまつわる物語をゲーム風に作成。例：前田利長のアバターを操り頭首になり、城下町の整備を行い、商人・職人を呼び込み、街を盛り上げる。
ワザ	新技術	ゲーム開発	ビデオゲームによるマップの配布	コロナ禍のため、観光として訪れるのは、人目が気になり容易にいけず、自宅で過ごす時間が多くなった。これに伴い自宅での過ごし方でゲームの需要が増加している。スマホ・PCゲームとして人気を誇る「マイクラフト」を活用し、ワールド内に基盤の地形(前田城・城下町・現在の高岡市の建築)を作り、プレイヤーが好きに建築を作り、オリジナルの高岡市を作る。(基盤は壊せないように設定)
ワザ	新技術	ゲーム開発	(富大生とともに)日本遺産を守れ！バトルゲームの開発	Web上で楽しむことができる、高岡の文化財を周りながら次々と現れる妖怪やモンスターなどを倒していくゲーム。文化財に隠れている大きな妖怪を倒すとその文化財ごとに異なるバッジがもらえる。そのバッジを実際にその施設で見せると、実物のバッジも集めることができる。また、職人さんとお会えたらレベルアップする要素なども含める。
ワザ	新技術	ゲーム開発	日本遺産ゲーム化企画	日本遺産を題材としたRPGゲーム、ユーザーが利長になったつもりで高岡城の建設を目指す育成ゲーム、マリオのようなアドベンチャーゲーム、日本遺産を擬人化した乙女ゲームなど…短めのフリーゲームを作ってみる(コストはかかるかもしれない)
ワザ	新技術	ゲーム開発	君ならどうする？前田利常シュミレーター (親子で参加)	お城がなくなったことで大変なことになった高岡…もし君がお殿様だったらどうまちを救う？子供達に前田利常になりきってもらい政策を自由に考えながら、楽しんで歴史を学んでもらう体験型ゲーム。難しくないように選択肢を設けながら進める。歴史をよく知らない親御さんも同時に日本遺産の物語を知ってもらえる。
ワザ	新技術	ゲーム開発	たかおかDEポケモン集めてみんけ	ポケモンGO的なアプリ、またはそれとのコラボ。ゆかりの地をめぐるアイテム(仮)を集めたら何かできる、特別なポケモンがもらえるなど。

ワザ	新技術	VR	自宅で観光!? VR高岡日本遺産の旅	コロナウイルスにより外出自粛を呼びかけられている今、VRを通して、直接行かずとも高岡の日本遺産に触れることが出来る。厳密に言えばVRではなく、360°カメラなどで事前撮影した映像を、YouTubeなどで公開する方が現実的だと考える。
ワザ	新技術	VR	日本遺産のストーリーVR	日本遺産のストーリーに入り込めるVRを作成する。既存の日本遺産紹介ムービーをVRに対応させ、物語の中に入ったような臨場感を出すことで一層日本遺産を楽しく知ってもらうことができると考える。
ワザ	新技術	VR	バーチャルトラベル ー高岡の日本遺産巡礼ー企画	現在新型コロナウイルス感染拡大による影響で旅行がしにくい環境になる。少しでも旅行した気分になってもらって楽しんでもらうと共に高岡の日本遺産も知ってもらう効果を期待。
ワザ	新技術	VR	仮想空間で作る日本遺産	マインクラフト、どうぶつの森等を利用して、高岡の日本遺産を色々な人に作ってもらう。その中で優秀な作品を作った人には景品を贈与する。これらを製作する際、建物の中の詳細を知るため現地に訪れる人が増える可能性も。
ワザ	新技術	プロジェクションマッピング	瑞龍寺でのプロジェクションマッピング	瑞龍寺が築かれた歴史や高岡市の歴史を、プロジェクションマッピングを活用してストーリー仕立てで公開する。SNSやYouTubeでの公開も行い、世界中に高岡市の文化や歴史を発信できる。
ワザ	新技術	プロジェクションマッピング	プロジェクションマッピング	高岡の日本遺産で同時にプロジェクションマッピングを写す。
ワザ	新技術	アプリ開発	日本遺産アプリ	日本遺産までの道順(使う手段ごと)、日本遺産間の距離、日本遺産の基本情報(日本遺産になるまでなど)、近くの飲食店、トイレや授乳所の可否などが網羅されているアプリ。訪れた場所は記録されるシステム
その他	行政施策	統一ユニフォーム	各観光地で団結ユニフォーム	各観光地(山町筋、金屋町、高岡大仏付近など)のお店で一つのユニフォーム(Tシャツ)を着る。なお、Tシャツのデザインは観光地ゆかりデザインに加え、日本遺産ストーリーの要素も加える。芸文生と協力するのもあり。
その他	行政施策	記念日制定	記念日を制定する。	誕生日のように、遺産が作られた日や、設置された日を記念日にして見に来た人たちに景品を配ったり、イベントを行う。
その他	行政施策	記念日制定	高岡日本遺産の日の制定	高岡の歴史が日本遺産に認定された日を「高岡日本遺産の日」とする。市内の小中高の学校で歴史の物語を校内放送したり、文化財について学ぶ時間を設けたりする。
その他	行政施策	ふるさと納税活用	ふるさと納税との連携	高岡の日本遺産制度を関連させた、オリジナルのふるさと納税セットを設けてみる。従来のものと組み合わせる形でも良いし、付随する形でも良い。
その他	行政施策	マンホール活用	高岡の日本遺産マンホールストーリー	日本遺産のストーリーをいくつかの種類のマンホールにし、高岡に散りばめる。全ての種類の写真を撮り、コンプリートしたら景品と交換。いずれ老朽化したマンホールは取り替えなければならないため、お金は膨大にはかからない。